

2017 Japan - Africa Children's Book Project

※「2017年度活動報告書」と合わせてご覧ください。

①「ケニアのドリームライブラリー」



(左) エンザロのドリームライブラリーで、本を楽しむ子どもたち。(右下) シャンダのドリームライブラリー。司書のアイリーンさんが子どもたちの様子をみてまわっています。



②「講演活動」

● 杉並区立高井戸東小学校にて講演

会員のほそえが、高井戸東小学校の約320名に、3択クイズや動画などで、子どもたちにも参加してもらいながら、アフリカ子どもの本プロジェクトの活動や、ドリームライブラリーの講演をしてきました。



● 大阪府吹田市にて講演

会員のさくまが、吹田子どもの本連絡会主催『子どもと本の集い2017』にて、「共感を育てる子どもの本～どうして図書館? どうして平和? どうしてアフリカ?～」と題して講演をしてきました。



③「ジョン・キラカ氏来日イベント」

● アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展

プロジェクトの推薦図書の中から絵本を中心に約60冊ほどを展示しました。青山学院のオープンキャンパスの日で、校内には多くの学生や親子連れが見られました。キラカさんの絵本の読み聞かせや、レクチャー、ブックトークや、アフリカ子どもの本プロジェクトの説明も行われました。



● 子どものためのワークショップ

子どもたちに向けたワークショップ。キラカさんによるスワヒリ語のストーリーテリングの後(写真右上:通訳は井上真悠子さん)、アクリル絵の具を使ってそれぞれ思いの動物の絵を描きました。



● 講演会「アフリカの豊かな語りと絵本づくり」

会場は100名余の参加者で盛会となりました。ホールの後方には展示会場も設置し、たくさんの来場者の方々にぎわいました。



いつも明るく、
みんなを楽しませて
くれたキラカさん。



右から、岩井雪野さん(通訳)、ジョン・キラカさん、
フランシス・マゲジさん(通訳)、さくまゆみこ(ア
フリカ子どもの本プロジェクト会員)。



④ 「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」

東京外国語大学の学生さんたちが、企画・運営したアフリカンウィークスの一環で、プロジェクトの絵本セットの展示をしてくださいました。



⑤ 「JACBOP Goods」

オリジナルマスキングテープや、トートバッグ、絵本『エンザロ村のかまど』、またオリジナルTシャツ(黒のみ)も、引き続き販売いたしております(絵:沢田としき)。ご希望の方は、振込用紙にご希望の商品をご記入の上、年会費と一緒に申し込みにください。

JACBOP Goods

〈JACBOP マスキングテープ〉



¥350 (15mm幅/10m巻き)

〈JACBOP トートバッグ〉



¥1,500 (38cm×42cm×13cm)

〈絵本『エンザロ村のかまど』英語版・スワヒリ語版〉



エンザロ村に図書館をたちあげるきっかけになった絵本です。英語版、スワヒリ語版は、書店での取り扱いはなく、アフリカ子どもの本プロジェクトでのみの販売となっております。

各 ¥1,000



アフリカ子どもの本プロジェクト
Japan-Africa Children's Books Project (JACBOP)